

第11回 二十五三昧会

共同墓「空去来・舎羅林堂」

第10回 合同供養&講演会のお知らせ

2014年**3月21日**(金・祝)

(春分の日・彼岸の中日)

- ◆共同墓 合同供養… 15:00～15:30(舎羅林堂にて)
- ◆太極拳奉納…………… 15:45～16:00(本堂にて)
- ◆講演会…………… 16:00～17:30(本堂にて)
- ◆交流会…………… 17:45～19:30(小堂にて)

*できる限り、お車でのご来山はご遠慮ください。
(彼岸の中日ですので大変な混雑が予想されます)



講演会



■講師プロフィール

瀬良 信勝 師 大阪生、42歳。

真宗大谷派僧侶。

十数年来、遺族ケアを中心に活動。2008年からは、大阪府和泉市にある急性期民間病院、社会医療法人生長会府中病院にてスピリチュアルケア専門職として医療の世界に身をおき、主に患者とその家族、ならびに病院スタッフの心のケアやスピリチュアルケアに従事。2013年からは、千葉県鴨川市にある医療法人鉄蕉会亀田総合病院にて、同じくスピリチュアルケア専門職(チャプレン)として勤務。

頭では理解できない老病死

■講演概要

私達が疑いもせず当たり前としている日常が、老いを通して、病を通して、そして死を意識したり、身近な大切な人の死に接したりして、徐々にまたは突如として自分自身が“打ち崩される”経験をすることがあります。

そこで立ち現れてくる“苦悩の世界”の只中で、「何で?」と問われるその間に、頭で理解しようと思っても納得に至ることはほとんどありません。“頭”と“心(魂)”, “あって欲しい自分”と“あるがままの自分”が切り離されているためです。

ですから「頭では理解できない」のです。

※【スピリチュアルケア (spiritual care) とは】

私たちが「なぜ生きているのか」「何のために生きているのか」「毎日繰り返される体験の意味は何か」「自分はなぜ病気になるのか」「自分はなぜ死ななければならないのか」「死んだあととはどうなるのか」「人間に生まれ、人間として生きているということはどういうことなのか」などを問わざるを得ない試練の時間が人生の中には往々にして見られます。スピリチュアルケアとは、こういった人生の試練を抱えている人に真正面から向き合い、その人らしく生きていくことを支えるため、絶え間なく働きかける援助のことです。

檀信徒以外の方も、曹洞宗以外の方も、初めての方も、お気軽にご参加ください。

二十五三昧会(にじゅうござんまいえ)とは、お寺が中心となり「メンバーの誰かがヘルプを願い出たら、みんなで出来る範囲のお手伝いをしよう」など、ゆるやかな人的交流の互助的な共同体です。入会費や制限など一切ありません、詳しくはお寺までご連絡を。(平日10時～16時)

会員
募集中

お問い合わせ—観瀧山 岡本寺 (こうほんじ) TEL.072-793-0203